



千葉大学医学部ヨット部報

Vol.34 2019/7月吉日

はじめに

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃、先生方に置かれましてはいかがお過ごしでしょうか。私たち千葉大学医学部ヨット部は、今年度5月に新たに7人の新入生を部員として迎え、8月に行われます東医体・医科歯科大会に向けて練習に励んでおります。

このように多くの部員、艇数を維持して練習できますことは先生方の日頃のご支援のおかげであり、部員一同心より感謝申し上げます。

今回の部報では、ヨット部OB会長である山浦先生、ヨット部顧問の清水先生、千葉大学全学ヨット部と医学部ヨット部の監督をしてくださっている斉藤総監督のご挨拶と、今年度入部いたしました新入生、そして今年の夏に東医体に出場するレースメンバーの紹介と挨拶をお届け致します。

OB 会長挨拶『千葉大学医学部にのこる「獅胆鷹目行女手」について』

OB会長 山浦 晶 (昭和40年卒)

千葉大学医学部ヨット部OB会長も今年を最後に、任を終えることになった。諸君はいずれヨット部活動をはなれて、医学医療の道に専念することになるので、今回は、潮気抜きのはなしをしておきたい。

千葉大学医学部に残る「獅胆鷹目行女手」という言葉についてである。

この話をしておこうと思ったのは、諸君が卒業後着用することになる白衣のそでに「獅胆鷹目行女手」をデザインしたロゴマークがついている。向かって左の獅子の像と、右の鷹の像を両手がやさしく支えている図案で、中央にハートが置かれている。「紫檀高め行女手」をそのまま図案にしたようで分かりやすいが、出典を知らなければ意味するところは分からないだろう。私が勤務する松戸市立総合医療センターには多くの研修医が研鑽を積んでいるが、白衣のロゴから千葉大学出身とすぐに分かり、懐かしさから声をかけた。しかし、彼はそのロゴの意味するところを全く知らなかった。

「獅胆鷹目行女手」は外科医の座右の銘としての印象が強いが、どの分野にあっても通じると思う。直接の意味は、「外科医はすべからく手術を行うに当たっては、獅子のように動じない心を持ち、鷹のようにするどく術野を観察し、女性の手のように繊細に手術をすすめよ」と率直に表現されている。この言葉は英文でも残されていて、こちらにも率直な言い回しだ。

A heart as the heart of a lion,
his eyes like the eyes of a hawk,
and his hands as the hands of a woman

千葉大学医学部の学生諸君。諸君の白衣にあるこうした意味深いロゴが、諸君の研鑽のありようを見つめていると、思い起していただきたい。

顧問挨拶『令和の時代も千葉大学医学部ヨット部の風を吹かそう』

清水栄司（平成2年卒）

平成が終わり、令和の時代になりました。第62回東日本医科学生総合体育大会ヨット競技大会が開催される東北の閑上（ゆりあげ）ヨットハーバーにて、今年も、優勝を目指して頑張ってください。

さて、昭和、平成、令和と平成を一つ飛んで「和」が続きます。「和」が元号に使われた回数は、西暦708年の和銅から始まり、承和、仁和、応和、安和、寛和、長和、康和、養和、正和、弘和、貞和、文和、永和、元和、天和、明和、享和、昭和、令和と合計20回とのことです。元号の使用頻度としては、第1位「永」29回、第2位「元」27回、元第2位「天」27回、第4位「治」21回、第5位「応」20回とともに同率5位です。日本人は、「和」という文字がとても好きなのです。それは、「和」が日本人の魂を表すからでしょう。

さて、「和」といえば、「和を以て貴しとなす」と西暦604年の聖徳太子が作ったとされる十七条憲法の第一条です。日本の古称である「大和（やまと）」は大きい「和」ですね。ヤマト王権は、3世紀の古墳時代に奈良県の大和地方に成立したとされています。中国の『三国志』中の「魏書」は倭人について伝えています（魏志倭人伝）。「わ」という発音が日本を示していたのです。「私」のこと（自称）を「わ」（われ）と言っていたので、それが日本人を指すことになったという平安時代初期の『弘仁私記』序はある人の説として紹介されているそうです（Wikipediaより）。「和」という言葉が、「わたくし」の「わ」でもあるならば、ますます私たち日本人のこころの基盤になっているようですね。

5月末にNHKの「歴史秘話ヒストリア」で「巨大古墳誕生 世界遺産目前！百舌鳥・古市古墳群」という番組をやっていました。NHKのWEBから引用すると、「日本全国の「前方後円墳」は、北は岩手から南は鹿児島まで4000以上。これほど広範囲に多数の前方後円墳が築かれた理由は何なのか。実は、前方後円墳はヤマト政権と地域勢力の「同盟のあかし」。古墳時代、国をまとめた原動力「前方後円墳ネットワーク」ということです。巨大古墳を築かせたとされる「倭の五王」は、讚=仁徳・珍=反正・済=允恭・興=安康・武=雄略であったと言います（Wikipediaより）。当時の高句麗・百濟・新羅が争う朝鮮半島情勢の中、外からの侵攻に対抗するために、倭の王（おおきみ）は、日本統一を目指しました。そこで、ヤマトの地に作った前方後円墳と全く同じ構造のものを、北から南までの地方の有力者に古墳作りの技術者を派遣し、その地の勢力にあわせたサイズで建設し、

一つの国「和」になろうとしていたと番組では紹介していました。古墳時代から、日本は「和」を以て一つになって強くなろう、日本人として頑張ろうという気概を感じました。

東日本大震災の直後のつらい時期に暴動も起こさずに生き抜いた東北の人々は、世界から「和」をもっていることを称賛されました。日本のSocial capitalの高さが明示されたのです。千葉大学医学部ヨット部の皆さんも、「和」を以て強くなってください。

『部活の継続で免疫力や精神力を高めよう！』

斉藤 威 総監督

いきなりの呼びかけで、一体何のこと？

きっと部員の皆さんは、特に新入部員の皆さんは、そう思うことでしょう。

これはヨット部の部活を最後まで続けてほしいと願って贈る言葉なのです。

今この時期はだんだん陽気もよくなり、東医体に向けて練習に励んだり、湘南で行われるレースで腕を磨くなど一番気合が入っている時期ではないかと思えます。

上級生は目標も明確で、やることも決まっている中で、また新入生はヨットとの出会いで、ヨット部との出会いで、ヨットがとても面白くまた興味深くなり、部活も楽しくまた部員のみんなと一緒にいられることがうれしくなる。そのような時ではないでしょうか。

この気持ちを大事に、そして上級生も下級生もみんなでこのようなヨット部であり続けられるようにし、学生時代の最後までヨット部を続けてほしいものです。

しかしです。目指す東医体が終わり、夏休みが終わり、前期の試験勉強が始まり、ちょっとヨットから、ヨット部から遠ざかる時期がやってきます。そうすると気温も下がりはじめますし、何となく部活に行くことが億劫になりはじめたりします。そこでタイトルの言葉なのです。免疫力や精神力を高め、部活を続けましょう。

弱ってきた体、心に忍び寄る「ヨット部やめたい病」は、ヨット部のほかにもっとやりたいことがある、部費稼ぎのアルバイトで学業との両立が難しい、それでもなお経済的環境が厳しい。彼女彼氏ともっとデートしたい。などという病魔がもたらす病気です。ですが、この病気はこのような外的問題もありますが、多分に自分自身の中に「やめれば楽になるぞ」という自分と「頑張ればきっといいことがある」という葛藤をどう超えていくかという内的問題の方があると思えます。ちょっと部活に行かなくなる。行かなければと思いつつも楽な道を選んでしまう。ハッと気が付き、これではいけないと部活に戻るが、休んでいた時間が長ければ長いほど自分の居場所がなくなっているように感じ、また行かなくなってしまう。という悪循環に陥ってしまいます。

ということで、この病気に打ち勝つには、まずは自分でこの病気に打ち勝つ免疫力と精神力が必要だということです。

レースで良い成績を収めるのが運動部としての目標ではありますが、これに向け部員が気持ちを一つにして努力する。そのために自分は何をすべきか、何ができるかを考えつつ部活を続けることは大事な目標であります。多少の困難があってもこれに打ち勝ち、何事も最後までやり遂げることが大事で、このことができるようになることが免疫力を高めるということではないかと思えます。この免疫力を学生時代に培うのも部活の意義ではないかと思うところです。

そのためにも、部員全員でいつまでも続けたいヨット部という雰囲気を作り上げることはもっと大事なことです。

そして、悩み始めたら上級生や同期生という医者診察を受ける。経済的支援という親からの薬をいただく。彼女彼氏とよく話し合い（愛）デートの時間を少し切除するという手術を行う。という道もあります。自分で悩み続けることなく、周りの人に悩みを打ち明け、相談に乗っていただき、支援していただくこと

です。このことで気持ちも前向きになり、独り悩むことなく気持ちも切り替えできるようになります。そしてヨット部を続けてきたという自信が「ヨット部やめたい病」に対する免疫力の向上と相まって、何事にもくじけない精神力も高まります。このことは将来医者になっても最後まであきらめない、患者と共にとことん病気に対峙するという精神力につながることでしょう。

今この時期に。という感があるでしょうが、長く監督を務めてきた私の偽らざる気持ちです。「継続は力なり」ですよ。

なお、「免疫」のことは徳久学長のご専門です。「精神」のことは清水部長のご専門です。私の勝手な解釈については的外れかもしれません。悪しからずです。



今年度千葉大学全学医学部ヨット部合同での新歓コンパの様子
今年も多くの新入生が入部してくれました。

新入部員の言葉

2019年度新歓コンパにて、医学部ヨット部には男子3名、女子4名の総勢7名の1年生が新たに入部致しました。夏までヨットに乗ることができる機会は少ないものの、いつも積極的に新しいことを学ぼうとする姿勢から、今後更なる成長が期待できます。

今後ヨット部をより一層繁栄させてくれるであろう、期待の新入部員たちの挨拶です。

大山 諒 (県立千葉)

大学生生活6年間でヨットに捧げたいと思います。よろしくお願いします。

小山田 理恵 (白百合)

先輩方にご指導いただきながら、6年間精一杯ヨットに打ち込みたいと思います。よろしくお願い致します。

北村 美織 (桜蔭)

先輩方の背中を追いかけて、ヨットを学び、腕を磨いていきたいと思います。

竹内 南帆 (桜蔭)

先輩方から学び、成長できるよう努力していきたいです。

田中 颯人 (浅野)

素晴らしい先輩方を目標に6年間精一杯ヨットを頑張りたいと思います。

中西 杏璃 (小松)

先輩方のように一生懸命ヨットに取り組み、チームに貢献したいです。

原田 晃希 (駒場東邦)

先輩たちから学び成長して、そしてヨット部に貢献していけるよう一生懸命頑張ります。

2019年 東医体レースメンバー紹介



レースメンバー全9名@稲毛ヨットハーバー 左から順に、辻本、川島、森田、榎並、浜辺、村田、菅波、八木、岡本、志村、片山

今年も、医学部ヨット部の最大の大会である東日本医科学生総合体育大会(東医体)が近づいてきました。本戦は、8/9~8/11に、閑上ヨットハーバーにて行われる予定です。10日(土曜日)と11日(日曜日)には観覧艇も出航致しますので、宮城県という遠方での開催とはなりますが、ぜひレースの応援にお越し下さい。

今年度のレースメンバーは5年生5名、3年生6名、セールナンバー:4581.4486.4413で出場致します。それでは今年のレースメンバーの挨拶です。

JPN4581

Skipper(写真中央):辻本 慈瑛

諸先輩方が築いてこられた基盤なしに去年の優勝は成しえなかったと感じています。この流れを盤石なものとするべく全力を尽くしますので応援よろしくお願い致します。

Crew:川島 泰世(写真右) チームの力となれるよう、精一杯頑張ります。

森田 夏希(写真左) チーム一丸となって頑張ります



JPN4486

Skipper(写真右):榎並 奏

レーメン 11 人+1 人で閑上の海を走ってきます。総戦力の東医体で千葉医ヨット部の力を示すため、全力で臨みます。応援よろしくお願い致します。

Crew(写真左):波辺 美波

やってきたことをすべて出し切って優勝に向かって頑張ります！



JPN4465

Skipper(写真左):村田 桜子

多くの方のバックアップの中で、ここまで練習を続けて来られたことに感謝しております。最後までチームの力を信じて走り抜けた後に優勝を勝ち取ることができるよう、全力でセイリングをします。応援よろしくお願い致します。

Crew(写真右):菅波 創太郎

クルーとしてのこれまで2年間の練習の成果を出し切り、優勝目指して頑張ります。



JPN4413

Skipper(写真右):八木 はるか

この2年間、東医体優勝を目指してチーム一丸となって練習に励んで参りました。クルーと力を合わせて前を走り、優勝を勝ち取るために仲間とともに全力を尽くします！ご声援よろしくお願い致します。

Crew(写真左):岡本 和也

クルーの集大成として東医体を迎え、4413を走らせるべく、スキッパーを支えたいと思います。応援よろしくお願い致します。



JPN4305

Skipper(写真右):志村 和佳

船を信じて、クルーを信じて、仲間を信じて頑張ります！応援どうぞよろしくお願い致します！

Crew(写真左):片山 一志

スキッパーと息を合わせて閑上の海を走り抜けます！



医学部ヨット部の夏の日程

- 8/7～8/11 東医体（江の島ヨットハーバー）
8/7 プレレース
8/8 女子レース
8/9～8/11 本戦（11日に引退式・幹部交代式）
- 8/13～8/15 関東医科歯科学学生ヨットレース（江の島ヨットハーバー）
8/13 プレレース
8/14～8/15 本戦
- 8/17～8/19 稲毛合宿（稲毛ハーバー）：1年クルー・2年スキッパー養成合宿

2019年度 現役部員名簿

顧問	清水 栄司教授	4年	鵜梶 真衣	2年	阿部 哲
6年	生嶋 光	主将	逢坂 太郎		猪野 凌太
	佐藤 玲子	会計	小関 遥		宮川 宏佳
	高橋 誠志朗	主務	塙 夕稀子		元田 航世
	林 亮佑		渡邊 怜	1年	大山 諒
	凌 将登	3年	岡本 和也		小山田 理恵
	和田 七海		片山 一志		北村 美織
5年	千葉 えみり		川島 泰世		竹内 南帆
	榎並 奏		菅波 創太郎		田中 颯人
	篠原 雅貴		浜辺 美波		中西 杏璃
	志村 和佳		森田 夏希		原田 晃希
	辻本 慈瑛				
	村田 桜子				
	八木 はるか				

あとがき

私たち千葉大学医学部ヨット部は現在、夏に閑上ヨットハーバーにて開催されます東医体に向け、稲毛ヨットハーバーにて練習に励んでおります。7月27日(土)には全9艇を閑上に運び、東医体開催地での練習を行う予定です。

このように、多くの部員・艇数を保って練習ができますことは日頃からの諸先生方のご支援ご協力のおかげと、部員一同、大変感謝しております。

今年の夏は私たち千葉大学が東医体の主催校を務めております。先生方に良いご報告ができますよう、部員一丸となり精一杯頑張ってお参りますので、今後とも温かいご声援をどうぞよろしくお願い致します。

8月31日(土)には稲毛ヨットハーバーにてOBレースを予定しております。詳細は追ってご連絡させていただきます。ご多忙の折とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ち申しあげております。

私たちの活動状況・レース結果について、Facebookに掲載しております。日ごろの活動の様子が分かる、と多くのOBの先生方にご好評をいただいております。

www.facebook.com/chibamedyacht

Facebookアカウントをお持ちでない場合も、Webで上記URLを検索していただくとページを閲覧いただけます。アカウントをお持ちでしたら、ページ内の「いいね！」を押していただけると、ページの最新情報をすぐにチェックできるようになります。たくさんの「いいね！」をお待ちしております。お時間のある際には、是非ご覧ください。



編集後記

千葉大学医学部ヨット部夏部報は今回で第34版となりました。今回の発行にあたりご寄稿頂きました先生方、この場をお借りして深く御礼申しあげます。

昨年度のOB総会は6年ぶりの東医体優勝につきまして、多くの先生方にご参加頂き、激励のお言葉を頂くことができ、部員一同大変嬉しく思っております。また、2020年の東京オリンピック開催に伴い例年通り江の島ヨットハーバーが使用できないという事から、今年度の東医体は宮城県の閑上ヨットハーバーにて開催されることとなりました。このことにつきまして、多くの先生方よりご支援や激励のお言葉を頂きました。日々私たちの活動を温かく見守って下さり、心より感謝申しあげます。夏の東医体・医科歯科の連覇に向けて部員一同、全力を尽くして参ります。

末筆ではございますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

4年主務 塙 夕稀子